

2004年5月吉日

アズイズ会会員の皆様

会員親睦『<sup>やおよろず</sup>八百万講話会』立上げのご案内

皆様ご健勝のこととお慶び申し上げます。

お蔭様でアズイズ会も無事に第2回大会まで終了いたしました。会員の皆様からもご好評をいただき、会の運営は順調に滑り出しております。皆様の暖かいご支援に改めまして厚く御礼申し上げます。

さて、アズイズ会におきましては、設立趣意書でも申し上げました通り、芝の上だけに拘らず、肩のこらないイベントも時折企画して参りたいと考えております。今般、この目的を実現するために、『八百万講話会』をスタートさせる事に致しましたのでご案内申し上げます。

先日の梅原猛先生の講演会で、先生は、日本は自然との共生とその循環を信奉してきた旨お話がありました。山に神あり、田にも水にも神ありで、所謂、八百万（やおよろず）の神がいる日本は、並立するいくつもの価値を認める国でした。因みに、日本における聖なる数は八であります。それは、八岐大蛇、八幡神社、江戸八百屋町、八百屋等に残っています。八とか八百あるということだけでなく、数え切れない事を表す数字として使われたものと思われる。中国では、この聖数が九になります。結婚式で三々九度の杯を交わし、永遠に愛を誓い合います。お坊さんが永遠に仏に帰依する意味で三拝九拝致します。一桁の最後の数字に永遠を託すということでしょうか。

私達は、自分たちの分野のことには長けていても、他分野の事は意外と関心が無いし、知識も浅くなってしまいます。各分野に八百万に並列して存在する価値に接する事により、より良き生活を送るための糧になればと思い、『八百万講話会』と命名するものです。

『八百万講話会』におきましては、商工会議所主催のバリュープラクティス講演会等とは一線を画し、原則としてゴルフ愛好家の方を講師にお招きし、但し、テーマについてはゴルフのみに限定せず、その時々で旬な話題、日頃聞けない裏話等を肩の凝らない程度に柔らかく、かつオフレコでお話していただくとの趣旨です。ご賛同いただけましたら幸甚でございます。

アズイズ会世話人

片川喜代治

田中收

太田義弘